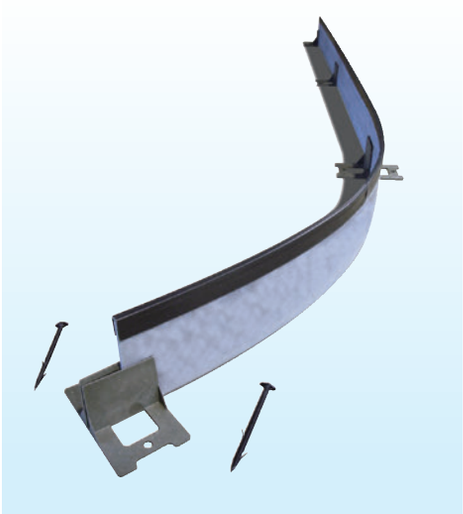
エッジボード〈GRC製仕切り板〉

GRC

茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京 神奈川 山梨 長野 静岡

エッジボードは、芝生やグランドカバーと砂地や植込みとの間に、綺麗な境界線をつくる新しい見切り材です。従来使われていた波板や杉板などの見切り材に比べて、様々な点で優れ、これからの公園づくりや街の景観整備にすばらしい効果を発揮します。

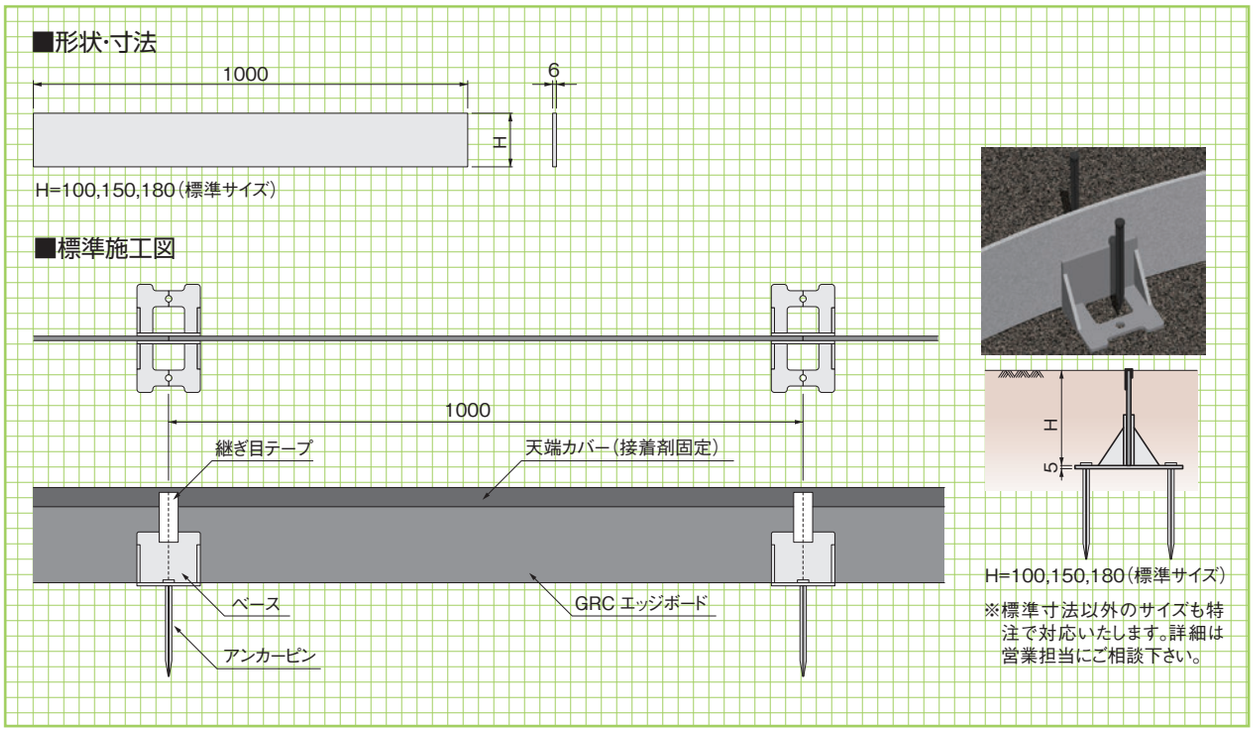


●特長

1.従来のプラスチック製品と違って、直線部が美しく仕上がります。
2.薄板なので、1mRのカーブも対応可能。美しいエッジラインを演出します。
3.主材がGRC製で熱に強く、アスファルト施工にも対応できます。
4.敷地の有効利用が可能で段差ができないバリアフリー対応です。

基本形状図

形状・寸法



園路等の見切り材として

天端幅が6㎜なのでスッキリとした景観を創出できます。

舗装材の敷き砂流失防止として

ブロック系舗装の、不陸の原因の一つである敷き砂の流出防止が期待できます。

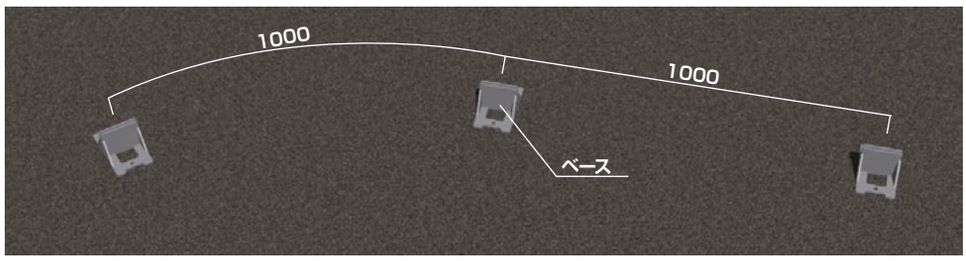
インターロッキング舗装の見切り材として

基本的に歩行者系道路あれば、インターロッキングの見切り材として使用できます（路盤構成に応じたサイズを使用します）

エッジボード施工手順

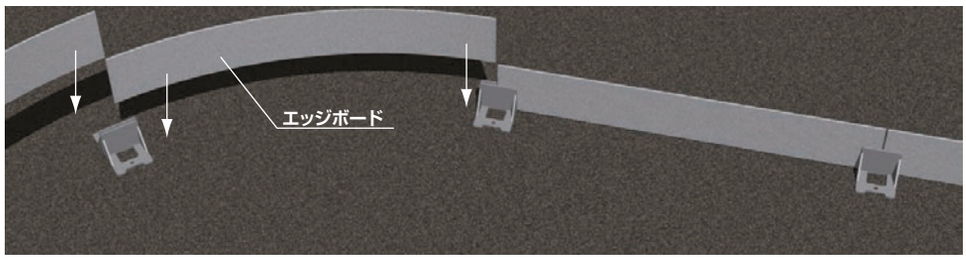
1.ベース設置

床掘り後、高さを合わせて、エッジボード本体の継ぎ目の位置にベースを設置します。



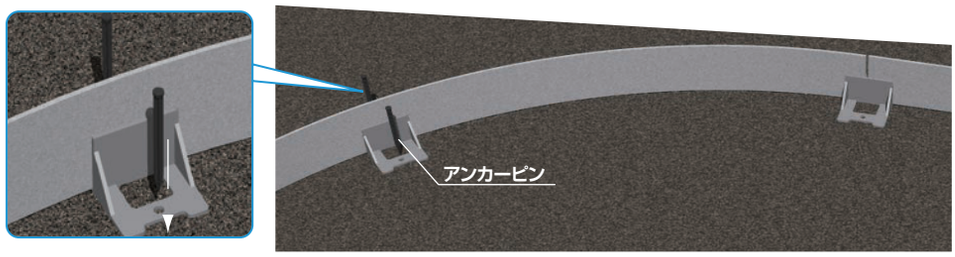
2.エッジボード挿入

ベースのスリット部にエッジボードを挿入し、高さを微調整します。R部分は、所定のRになるように、手で少しずつ曲げてから挿入する。急激に曲げると割れる場合があります。



3.アンカー打込み

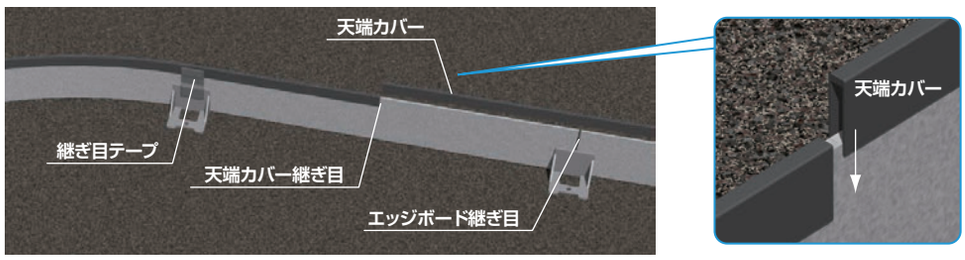
ベースにアンカーピンを打込みずれないようにします。(カーブ部など、ベースが動く可能性があるところだけでも可)



4.天端カバー

エッジボードの継ぎ目と天端カバーの継ぎ目が、重ならない位置に挿入します。

芝生・雑草等の根の侵入の防止と、天端カバーのズレ抑制を兼ねて、エッジボードの継ぎ目にテープを貼ります。



※天端カバーは転圧時に製品天端を保護する役割ですので、コンクリート舗装等の転圧をしない舗装の場合は必要ははありません。また、天端カバーはアスファルト舗装の冷却時に縮み、継ぎ目に隙間ができる可能性があります隙間が目立った場合は、天端カバーの余りを切って挿入してください。

※舗装材側の基礎材及び埋め戻しと反対側の埋め戻しは製品がズレないように均等に投入してください。さらに、埋め戻した材料を数回に分けて足で踏み固めると、製品がより強固に固定されます。エッジボードの継ぎ目と天端カバーの継ぎ目が、重ならない位置に挿入します。

※現場状況に応じて、接着剤による接着施工を行ってください。詳細は担当営業にご相談ください。